

福祉部長目標

福祉部長 前田 広子(まえだ ひろこ)



当部の仕事をもって貢献しているSDGsの主なゴール



ゼロカーボンシティ実現に向けた当部の方針

すべての事業をゼロカーボンシティの視点から総点検し、省エネルギーや業務改善の可能性等を検討していきます。

福祉部の仕事

福祉部は、福祉総務課・生活福祉課・障害福祉課・高齢者支援課・介護保険課・地域福祉センターの6課で構成し、地域福祉の向上をめざして、高齢者及び障害者に関すること、生活保護に関すること、介護保険に関すること、地域福祉に関することなどを主な仕事としています。多様化・複雑化する福祉課題に対し関係機関等と連携しながら業務を進めていきます。

福祉部の令和4年度の目標

安心・安全に地域で生活できる環境づくりのため、生活困窮者等への適切な支援を行います。
障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例の体現に必要な施策を推進します。
地域全体で高齢者の課題を解決するため、生活支援体制の整備を行います。
誰もが意思を尊重され、権利が守られる環境づくりを進めるため、成年後見制度の利用促進に努めます。

目標達成に向けた重点事業

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	生活困窮者自立促進支援事業	様々な課題を抱えて地域で孤立している生活困窮者の自立に向けた支援を行います。	自立相談支援機関に配置したアウトリーチ支援員により、社会参加に向け支援を必要とする方に対し、より丁寧な対応による自立支援の強化を図ります。	就労準備支援 12 件(延べ 642 件)、住居確保給付金 289 件。 アウトリーチ支援員により状況に応じ計画的な支援で自立を促しました。

No	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
2	障害のある人もない人も共に生きる社会づくり条例推進事業	条例の周知啓発を行うとともに、条例の体現に向けた施策の検討を進めます。	条例の体現のため「社会的障壁の除去推進事業補助金」の交付を進めるとともに、関係部署等で連携し、障害のある人もない人も共に取り組めるワークショップや条例の周知啓発にかかる研修等を行います。	社会的障壁の除去推進事業補助金交付件数 2 件。 条例の周知啓発に係る出前講座・研修を 20 回開催しました。 グランエミオに筆談ボード 135 台を設置しました。 障害のある人もない人も共に参加するワークショップを 2 回開催しました。
3	生活支援体制整備事業	地域の課題を地域で解決するための体制づくりとして、高齢者の生活支援や介護予防サービスの充実と周知に努めます。	生活支援の担い手の発掘・養成を行うとともに、地域資源の開発やネットワーク化により地域全体で高齢者を支援する体制の整備を進めるとともに、広く周知を行います。	高齢者のデジタル・デバイドの解消に向けて、スマホ教室のサポーター養成を行いました。 地区の課題解決として買物支援のための移動販売や、ベンチプロジェクトの実現の支援を行いました。 『介護保険訪問介護自費対応事業所一覧表』を作成し周知しました。
4	成年後見制度推進事業	社会福祉協議会や関係機関等と連携しながら、成年後見制度の普及促進に努めます。	成年後見制度について、市民に広く周知するとともに、中核機関として相談体制の充実等を図ります。	中核機関として成年後見センターを設置し 696 件の相談に対応しました。 制度推進のための講座や研修を 15 回開催しました。